

路線名	事業名	事業区間	全体計画		整備目標 (H23～H27年度)		整備効果		当年度 (H23年度)		事務所
			整備目標・整備効果	進捗状況	整備目標	整備効果	業務目標	事業費			
<b>改善事業</b>											
国道34号	神埼佐賀拡幅	神崎市神埼町本居牟田～ 佐賀市兵庫町大字淵	5.2km	・交通混雑の解消 ・交通安全の確保	67%	H27年度 姉川橋区間 0.5km (H22年度末 4/4車線供用済 0.8km)	2/4車線供用	・渋滞損失時間の削減 (約33万人時間/年→2万人時間/年) ・交通安全性の向上 (死傷事故率: 162件/億台キロ→30件/億台キロ)	・用地取得率 39%	100百万円	佐賀国道
国道202号	伊万里バイパス	伊万里市大坪町～ 伊万里市二里町	4.6km	・交通混雑の解消 ・交通安全の確保	96%	H25年度 伊万里市大坪町 1.0km (H22年度末 4/4車線供用済 3.6km)	4/4車線供用 (全線供用)	・渋滞損失時間の削減 (約1万人時間/年→0万人時間/年) ・交通安全性の向上 (死傷事故率: 139件/億台キロ→92件/億台キロ)	・用地取得率 99% ・白野地区改良推進	25百万円	佐賀国道
国道203号	蔽木バイパス	唐津市相知町長部田～ 同市蔽木町中島	6.3km	・交通混雑の解消 ・交通安全の確保 ・高速交通ネットワークの確保	92%	H25年度 長部田IC～岩屋IC 2.1km H26年度 岩屋IC (H22年度末 2/4車線供用済 4.2km)	2/4車線供用 (全線供用)  ランプ部供用	・地域間の交流連携の向上 (唐津市～佐賀市: 約6分短縮) ・物流効率化の支援 大型車通行支障箇所解消 (1箇所) ・交通安全性の向上 (死傷事故率: 73件/億台キロ→33件/億台キロ)	・本山1号橋床版工完了 ・岩屋1号橋上部工完了 ・長部田地区改良推進	450百万円	佐賀国道
国道497号 西九州自動車道	唐津伊万里道路	佐賀県唐津市中原～ 伊万里市南波多町府招	18.1km	・交通混雑の解消 ・交通安全の確保 ・高速交通ネットワークの確保	67%	H23年度 唐津IC～千々賀山田IC 4.5km H25年度 千々賀山田IC～北波多IC 3.5km H26年度 北波多IC～谷口IC 4.8km	2/4車線供用  2/4車線供用  2/4車線供用	・地域間交流連携の支援 (唐津市～伊万里市間: 約5分短縮) ・物流効率化の支援 (伊万里港～最寄りIC: 約23分短縮) ・災害に強いネットワークの構築 (迂回走行時間の短縮: 約14分短縮)	・4.5km 2/4車線供用  ・用地取得率 100% ・千々賀山田地区改良推進 ・北波多地区改良推進 ・北波多地区舗装推進  ・用地取得率 99% ・板治川橋下部工推進 ・谷口地区改良推進 ・行合野地区改良推進	4.600百万円	佐賀国道
国道497号 西九州自動車道	伊万里松浦道路	佐賀県伊万里市東山代町～ 長崎県松浦市志佐町	17.2km	・交通混雑の解消 ・交通安全の確保 ・高速交通ネットワークの確保	24%	H26年度 山代IC～今福IC 5.5km	2/2車線供用	・地域間の交流連携の支援 (伊万里市～松浦市間: 約15分短縮) ・物流効率化の支援 (伊万里港～最寄りIC: 約42分短縮) ・災害に強いネットワークの構築 (迂回走行時間の短縮: 約20分短縮)	・用地取得率 97% ・埋蔵文化財調査推進 (打越跡) ・尾路崎地区改良推進 ・浜崎地区改良推進	825百万円	佐賀国道
<b>交通安全事業</b>											
国道34号	村田町交差点改良	鳥栖市村田町	1箇所	・交通渋滞の緩和 ・交通安全の確保	77%	H24年度 1箇所	全区間供用	・右折レーン設置による交通事故の低減と渋滞緩和 ・歩道整備により安全安心な歩行空間を確保	・調査設計 ・用地買収推進 ・工事推進	45百万円	佐賀国道
国道34号	荅野交差点改良	神埼郡吉野ヶ里町	1箇所	・交通渋滞の緩和 ・交通安全の確保	95%	H23年度 1箇所	全区間供用	・右折レーン設置による交通事故の低減と渋滞緩和 ・歩道整備により安全安心な歩行空間を確保	・1箇所 全区間供用	66百万円	佐賀国道
国道34号	田手交差点改良	神埼郡吉野ヶ里町	1箇所	・交通渋滞の緩和 ・交通安全の確保	0%	H23年度 1箇所	全区間供用	・交差点形状の改良による交通事故の低減と渋滞緩和 ・歩道整備により安全安心な歩行空間を確保	・1箇所 全区間供用	78百万円	佐賀国道
国道34号	田道ヶ里自歩道整備	神崎市田道ヶ里	0.4km	・交通安全の確保	96%	H23年度 0.4km (H22年度末 供用済 0.2km)	全区間供用	・自転車歩行道整備により安全安心な歩行空間を確保	・0.4km 全区間供用	21百万円	佐賀国道

※ 4月1日の閣議において財務大臣から公共事業予算・施設費について5%を一つのめどとして執行をいったん留保するとの方針が示されたことから、全体として原則5%程度の予算執行が留保されることとなる。

※ 供用予定については、事業進捗等により今後、変更する場合がある。

路線名	事業名	事業区間	全体計画		整備目標 (H23～H27年度)		当年度 (H23年度)		事務所	
			整備目標・整備効果	進捗状況	整備目標	整備効果	業務目標	事業費		
国道34号	大崎歩道整備	武雄市北方町 0.8km	・交通安全の確保	71%	H24年度 0.8km (H22年度末 供用済 0.4km)	全区間供用	・歩道整備により安全安心な歩行空間を確保	・調査設計 ・用地買収推進 ・工事推進	96百万円	佐賀国道
国道34号	今寺歩道整備	嬉野市嬉野町 0.2km	・交通安全の確保	92%	H23年度 0.2km	全区間供用	・歩道整備により安全安心な歩行空間を確保	・0.2km 全区間供用	15百万円	佐賀国道
国道203号	山本歩道整備	唐津市山本 0.4km	・交通安全の確保	65%	H27年度 0.4km	全区間供用	・歩道整備により安全安心な歩行空間を確保	・調査設計 ・用地取得率 100% ・工事推進	54百万円	佐賀国道
国道203号	山本2歩道整備	唐津市山本 0.4km	・交通安全の確保	0%	H27年度 0.4km	全区間供用	・歩道整備により安全安心な歩行空間を確保	・調査設計 ・用地買収着手 ・工事着手	177百万円	佐賀国道
国道203号	大寺自歩道整備	小城市三日月町 0.2km	・交通安全の確保	2%	H24年度 0.2km	全区間供用	・自転車歩行車道整備により安全安心な歩行空間を確保	・調査設計 ・用地取得率 60% ・工事推進	210百万円	佐賀国道
<b>無電柱化事業</b>										
国道34号	佐賀地区電線共同溝	佐賀市兵庫町～ 同市神園 3.7km	・都市景観の向上 ・都市防災機能の向上 ・安全で快適な歩行空間の確保 ・情報通信ネットワークの信頼性の向上	11%	H27年度 3.7km	無電柱化完了	・佐賀地区における都市景観の向上及び防災機能の向上、 安全で快適な歩行空間を確保 ・情報通信ネットワークの信頼性の向上	・本体工事推進 ・引込運系管路工事推進 ・調査設計 ・連系設備補償	469百万円	佐賀国道

※ 4月1日の閣議において財務大臣から公共事業予算・施設費について5%を一つのめどとして執行をいったん留保するとの方針が示されたことから、全体として原則5%程度の予算執行が留保されることとなる。

※ 供用予定については、事業進捗等により今後、変更する場合がある。